



～未来を切り開くスクール～

## はじめに

### みらくるとは？

「みらくる」～未来を切り開くスクール～は2017年に公益社団法人小田原青年会議所が実施した青少年育成事業です。2017年度は『いのち』と『感謝』にフォーカスを当て、50名の楽生に参加（先着順）していただき、4月入楽式「ありがとうってなんだろう」、6月授業「どろんこ田植え合戦!」、6月授業「お寺で合宿」、7月授業「灯想夜2017」、7月授業「夏の観察会」、9月授業「みらくるコンシェルジュ」、9月授業「共に暮らす」、11月臨時授業「稲刈り」、11月授業「お米の収穫祭」、11月事業「卒楽式」の10事業を開催いたしました。地域の方々にもボランティアとして参加していただき、楽生や保護者だけでなく、多くの方々からご賛同を得ました。

2018年度は『道徳心』と『地域愛』を育むことをテーマに、4月入楽式「みらくるスイッチON!」、5月授業「みらくるファーム～みんなで育てる～」、6月授業「みらくるフィッシング」、7月授業「みらくるインターナショナル」、7月授業「みらくるファーム～収穫祭～」、8月授業「わがまちPR大作戦」、9月卒楽合宿「卒楽合宿～感謝の想いとサバイバル～」の事業を展開し、地域の宝である子どもたちを地域で育て、子どもたちが自らの力で未来を切り開くことができるよう、みらくるはこのまちの地域教育システムの構築を目指して参ります。

### ～みらくるを通じ育む心～

- ① 他者を思い、尊重する心
- ② みんなと協力し、行動する心
- ③ 自己を理解し、自己を尊重する自尊心
- ④ 「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心
- ⑤ 地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑥ 食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心
- ⑦ 自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧ 自分ならできる! という自信





～未来を切り開くスクール～

## 地域教育推進委員会

委員長	室伏	寿美夫
副委員長	野澤	昌直
副委員長	須貝	吉朗
副委員長	佐藤	雄介
副委員長	大平	剛志
幹事	川井	悠司
幹事	秋澤	史隆
幹事	花澤	明弘
幹事	渡邊	裕忠

### 【委員会目標】 地域愛と道徳心を育む地域教育の推進

価値観の多様化、個性の尊重、核家族化などにより、家庭・学校・地域の三者が絡み合う教育の背景とニーズは複雑化しています。また、科学の発達により生活は便利になった一方、人々の繋がり希薄化が懸念されています。次代を担う子どもたちが自らを愛し、他者を思い、人々との繋がりを大切にし、地域を愛する人財となるよう、責任世代である私たちが地域教育の一端を担い、先達より受け継いだ愛を次代へ継承する必要があります。

まずは、昨年度実施した共育プログラムを、小田原青年会議所ならではの教育システムへと昇華させるために、徹底的に検証・解析し、行政や教育団体と意見交換し、人々の繋がりがや絆を感じ、この地域に生まれたことを誇らしく思える道徳心と地域愛にあふれた教育システムを構築します。そして、子どもたちが自らの地域をより知るために、自らの足で地域を回り、人々と触れ合う機会を創出し、地域との繋がりと地域愛を醸成します。さらに、私たちは家族や多くの人々の支え合いで成り立っていることへの意識を高めるために、感謝の想いを表現する事業を開催し、家族や周囲の人々に感謝する心を育みます。また、子どもたちが育んだ地域愛を自覚するために、非日常的な有事の際の疑似体験をしつつ、共育プログラムを通じた体験を振り返る場を作り、地域に対する探究心と愛着心を育みます。そして、大学生や高校生が子どもたちの手本となる流れを生み出すために、共育プログラムを担うボランティアとして、地域の人々のご協力をいただくとともに、大学生や高校生を育成する循環型教育システムを構築し、社会に必要とされる人財を輩出します。

地域から学んだ道徳教育を基に、子どもたちが自らで考え、行動し、地域の人々との繋がりの中で育まれていく。その成長は自らを愛し、家族・周囲の人々を愛し、地域を愛する心へと繋がり、他者を思い、地域を想う人々が溢れる「明るい豊かな社会」となります。





～未来を切り開くスクール～

## 実施概要

□名 称 「みらくる」～未来を切り開くスクール～

□主 催 公益社団法人小田原青年会議所

□期 間 2018年4月～9月

□定 員 60名

□対 象 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の小学生

□年 齢 小学生1年生～6年生

□費 用 無料

楽校の授業はすべて公益社団法人小田原青年会議所が負担  
集合場所までの交通費に関しては保護者負担

## 参加のご案内

### 参加費について

- ・開催中の費用については「みらくる」～未来を切り開くスクール～（以下、「みらくる」）が負担します。集合場所までの交通費については保護者が負担。

### 移動方法について

- ・基本は現地集合で現地にて解散ですが、場合によっては集合場所への送迎を行います。

### 申込条件について

- ・小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の小学生1年生～6年生であればどなたでも参加可能です。





～未来を切り開くスクール～

## 公益社団法人小田原青年会議所 概要

□名 称 公益社団法人小田原青年会議所

□所在地 神奈川県小田原市本町1-1-38

あいおいニッセイ同和損保小田原ビル 1F

□設 立 1958年

□目 的

1. 各種事業を実施すること
2. 関連団体の開催する事業を協働的に実施すること
3. 会員及び地域住民の資質を向上させること
4. 地域社会と日本国の産業、経済、社会及び文化の健全な発展を図ること
5. 明るい豊かな社会の構築及び世界の繁栄と平和に寄与すること

□事業内容

### 1. 青少年育成事業

- ・次世代を担う子ども達の心身を成長させ、郷土を愛する心や、道徳心を育むことを目的とする青少年事業
- ・児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
- ・教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

### 2. 人材育成事業

- ・国や地域を牽引する人材を育成することを目的とするひとづくり事業
- ・教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- ・地域社会の健全な発展を目的とする事業

### 3. 環境啓蒙実践事業

- ・環境問題を調査研究し、国民に対し啓蒙・実践を行うことを目的とする環境事業
- ・地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業

### 4. 国政健全化事業

- ・国政・国防・国土問題等、多角的な視野より分析し、国民には問題を提議し、政府には問題解決方法を提案することより、日本国の発展に寄与することを目的とする「国づくり」事業

- ・国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業





～未来を切り開くスクール～

## 5. 地域活性化事業

- ・地域住民、地域行政に対し、問題点を調査研究、提議し、諸問題を考え、解決していくことにより、更なる地域発展に寄与することを目的とする「地域発展」事業
- ・地域社会の健全な発展を目的とする事業

## 6. 国民生活支援事業

- ・経済問題の解決や国民生活の安全、安定化・活性化に努め、国民が安心して生活できるための調査研究提言等を行うことを目的とする事業
- ・公衆衛生の向上を目的とする事業
- ・勤労者の福祉の向上を目的とする事業
- ・事故又は災害の防止を目的とする事業

## 7. 国際交流推進事業

- ・世界情勢を踏まえつつ、国際的に通用する人材を育成し、国際的に展開する事業を通し、日本国の在り方と国際貢献を学び国際発展に寄与することを目的とする事業
- 国際相互理解の促進及び発展途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする事業

### □役員

理事長	石 崎 健太郎
直前理事長	竹 田 将 俊
副理事長	東 端 克 博
副理事長	石 井 雅
副理事長	牧 野 慎一郎
副理事長	一寸木 慎 也
専務理事	宮 川 勝 行

他18名 合計25名

### □運営実績

- 2017年 灯りの奏
- 2017年 「みらくる」～未来を切り開くスクール～
- 2017年 灯想夜（2012年～2017年）
- 2016年「小田原『灯の陣』 ～甦る！石垣山一夜城～」
- 2016年 フットサルをわがまちの文化へ～連携から生まれる地域の和～
- 2015年 わがまちコンシェルジュ
- 2015年 地域で育むみんなの学校 講師：ゴルゴ松本氏





～未来を切り開くスクール～

2014年 小田原城北条百年絵巻プロジェクトマップ

2013年 お仕事理解教室

## アクセスのご案内

〒250-0012

神奈川県小田原市本町 1-1-38

あいおいニッセイ同和損保小田原ビル1F

電話 0465-22-6381

